

P T A会員の皆さまへ

徳島県P T A連合会
会 長 谷 明 彦
(公 印 省 略)

いじめの問題への適切な取組について

日頃、徳島県P T A連合会活動に対しましてご支援・ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

各郡市P T A及び単位P T Aにおかれては、いじめの問題への対応について、P T A活動を通して取り組んでいただいていることと思います。

さて、昨年10月、大津市の中学2年生の男子生徒が自殺するという痛ましい事件が発生しました。報道によれば、この生徒がいじめを受けていたとされており、また、警察による捜査が行われるなど憂慮すべき状況となっています。さらに、この事件に対する学校や教育委員会の対応についても、そのあり方に大いに疑問を持たざるを得ません。

このような痛ましい事故は二度とあってはならないものであり、日本P T A全国協議会として、去る7月25日、文部科学大臣に対し、子どもを守るとの視点を中心に、学校・教育委員会のより一層の適切な取組や保護者、地域との連携の強化など、いじめを根絶できる効果のある措置を講じるよう要請したところです。

8月8日に日本P T A全国協議会から会員各位に対し、周知いただきたいとの依頼がありました。

徳島県P T A連合会としては、子どもたちを守る教育の原点が家庭教育にあることに立ち返り、会員全員が「いじめの根絶」と「いのちの尊さ」について再確認することとしました。

子どもたちをいじめの被害から守るために

【保護者の皆様へ】

- ・子どもの声に耳を傾けてください。
- ・子どもたちの変化を感じたら「どうしたの」と理由を聞いて、「大変だったね」「がんばったね」と相槌を打ち、悩みや辛さを理解してください。
- ・子どもたちの命を守るため、問題を共有し、いじめの解決に向け、P T A活動を通して取り組んでいきましょう。

いじめの根絶と「いのち」の尊さを訴える

昨年10月、大津市で中学2年の男子生徒が自殺するという事件が発生しました。報道によれば、その原因は、いじめであるとされており、これが真実であれば誠に残念です。このような痛ましい事件は二度とあってはならないものです。

私たちは、これまでも、子どもたちに「いじめ」はいけないことだときちんと教えることや教育の原点である家庭教育のあり方を改めて問い直すことを確認してきました。

今回の悲惨な事件を真摯に受け止め、検証や今後の対応について関係機関へ働きかけるとともに、日本PTAとして、子どもたちを守る視点に立ち、いじめの根絶と「いのち」の尊さを訴えることを次のとおり再確認します。

- 一、私たちは「子育ての第一責任者である」ことを認識しよう。
- 一、子どもたちに「いじめはしてはいけないこと」だと教えよう。
- 一、子どもたちに「『いのち』の大切さを」教えよう。
- 一、子どもたちが発する「シグナル」に注意しよう。
- 一、いじめに気がいたら「素早く対応」しよう。

平成24年8月8日
社団法人日本PTA全国協議会
会 長 武 田 岳 彦